

学生による博物館・地域との連携

実施者 人間文化研究科 教授 阪井芳貴

連絡先 sakai@hum.nagoya-cu.ac.jp

URL <https://museumsupporter-marowix.com/marowix>

連携・協力 名古屋市博物館

ポイント

大学、博物館、地元商店街・地域の方々をつなぐ連携活動です

1 概要

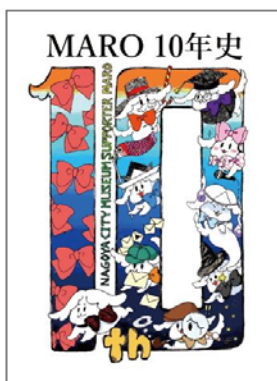
- ・本学は、平成 21 年度から名古屋市博物館と連携しており、学生たちの企画運営するイベントを主体に、大学と博物館と地元商店街・地域の方々をつなぐ持続可能な活動を目指しています。

2 活動内容

- ・名古屋市博物館の夏の風物詩「はくぶつかんなつまつり」における「ナイトミュージアム」の企画運営を皮切りに、平成 23 年以降新たに立ち上げた博物館サポーターサークル MARO に集まった学生が連携活動を拡大・充実しています。

<令和元年度の主な活動内容（平成 31 年度末を含む）>

- ① 『MARO 10 年史』の発行（平成 31 年 3 月 31 日）
- ② 常設展示室イベント「名市探偵～まるいぬの帰還～」の企画運営（令和元年 9 月 7、8 日）
- ③ 常設展示室イベント「歴史まつり 2020～令和のときあるき～」の企画運営（令和 2 年 2 月 15、16 日）
- ④ 「名古屋まつり」の「郷土芸能ステージ」（オアシス 21）での「催馬楽桜人」（名古屋市指定文化財（無形文化財））の歌唱披露（令和元年 10 月 19 日）



『MARO 10 年史』表紙



常設展示室イベント
歴史まつり 2020
～令和のときあるき～



名古屋まつりでの「催馬楽桜人」の歌唱披露

3 成果

- ・令和元年度も、例年開催してきた「ナイトミュージアム」が学事日程の関係で開催できませんでしたが、代わりに独自イベントを 2 回 4 日間開催し、合計 1,100 名以上の方々に参加いただくなど、地域の方々に定着した活動となっています。
- ・MARO の活動が評価され、平成 25 年度に名古屋市長から「文化財活かし隊」を委嘱され、平成 29 年度には博物館から感謝状をいただきました。
- ・「名古屋まつり」での催馬楽披露は、文化財の保護・継承のために継続が期待されています。また、平成 30 年 11 月には「地域伝統芸能全国大会 にほんのまつり in あいち」でも披露しました。